

令和7年度 外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーションⅡ	3	第2学年	BLUE MARBLE English Communication II ナビゲーションノート Listening Laboratory Standard β システム英単語

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・丁寧に話された内容をしっかりと聞き取れるようになりますように。
- ・英単語・熟語・文法・構文をしっかりと覚え、英文を読んでその概要を理解できるようにしましょう。
- ・適宜適切な質問等を用いた英語での基本的なやり取りができるようになりますように。
- ・日常での身近な出来事や興味関心のあることを標準的な英語で発表できるようになりますように。
- ・分かりやすい英語で文章を書くことができるように、適切な語彙・構文等を使えるようになりますように。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形で学習到達目標）

【第1学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
学習到達目標	定型的な表現を用いており、かつ丁寧に話された英語を聞き取り、必要な事柄についてその内容や要点を理解することができる。	写真や図表・グラフ等を利用しつつ、標準的な語彙・文法等を用いた英文を読み、その内容や概要を理解することができる。	相手の目をしっかりと見ながら英語でのやり取りができる。その際、やり取りを活性化させる定型文や表現を適宜活用することができる。	自身の考えや意見などについて、相手が理解しやすいように標準的な表現を用いつつ論理的にまとめて英語で発表することができる。	伝えたい内容をまず論理的で簡潔な日本語にし、それを英語の標準的な語彙や構文にまとめなおして書き表すことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	1 年次に学んだ知識や技能を基に、卒業後の進路実現を目指すために重要で標準的な語彙・文法・構文等の知識や技能を身につけている。	自分の考えや意見などについて標準的な英語表現にすることができる。まとめた英文や英語音声から必要な情報を受けとり、その真偽等を適切に判断することができる。	日本語と英語との間にある様々な言語的相違点や類似点に興味を持ちながら、粘り強く学習を継続することができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1 学期	Lesson 1 “Leadership in Modern Times”	聞くこと	a: 基本的な音節やアクセント・イントネーションについて理解できている。 b: 丁寧に話された英語を聞いて、質問に対する適切な答えを選ぶことができる。 c: 日本語と英語の発音の違いに注目しながら、集中して繰り返し英語を聞き取ろうとしている。	ディクテーション テスト
		読むこと	a: 英文の中で用いられている語彙や構文の用法を理解できている。 b: 英文の中から必要な情報を適時適切に見つけ出している。 c: 授業以前に、辞書等を活用して与えられた英文を理解しようとしている。	小テスト、ワーク、定期考査 (リーディング)
	Lesson 2 “The Diversity of Traditional Houses”	話すこと (やり取り)	a: 自身の考えや意見などを述べる際に用いる基本的な表現を用いることができる。 b: 相手とのやり取りの中で最適な英語表現を適切に選び出し、使用することができる。 c: スムーズなやり取り展開にならなくても、諦めずに何度でも挑戦している。	音読
		書くこと	a: 英文を作成するときに用いる英語の語順を理解できている。 b: 述べようとする内容に応じて英語の構文を適切に変えることができる。 c: 現在知っている語彙や構文を活用してできるだけ述べたい内容に近い英文を作成しようとしている。	小テスト、ワーク、定期考査 (ライティング) 自由英作
	中間考査			
	Lesson 3 “Improving Society with Avatar Robots”	聞くこと	a: 英語のリズムや弱く発音される語(曖昧母音)の変化について理解できている。 b: 丁寧に話された英語を聞いて、質問に対する適切な答えを選ぶことができる。 c: 日本語と英語の発音の違いに注目しながら、集中して英語を聞き取ろうとしている。	ディクテーション テスト
		読むこと	a: 必要な情報を探しながら、すばやく英文を読む方法を理解できている。 b: 広告やグラフなどからも情報を適切に読み取ることができる。 c: 授業以前に、辞書等を活用して与えられた英文を理解しようとしている。	小テスト、ワーク、定期考査 (リーディング)
	Lesson 4 “Approaches to Food Waste”	話すこと (発表)	a: 摩擦音や破擦音を含む単語の発音方法や舌の位置などを理解している。 b: ロボットと人間との良好な関係を保つためにどうすればよいのかについて、自分の考えをきちんとまとめられている。 c: メモなどを見ることなく、できるだけ暗唱したものを発表しようとしている。	音読
		書くこと	a: 助動詞や態・to不定詞の基本的な用法を理解できている。 b: 述べようとする内容に応じて適切な助動詞を選び、態を選択し、to不定詞を活用することができる。 c: 現在知っている語彙や構文を活用してできるだけ述べたい内容に近い英文を作成しようとしている。	小テスト、ワーク、定期考査 (ライティング) 自由英作
	期末考査			
2 学期	Lesson 5 “Animals as Indispensable Partners”	聞くこと	a: 日本語の「ア」に相当する英語の発音の違いを理解できている。 b: 単語単独で発音されたときだけでなく、文の中で発音されたものでも発音の違いが区別できている。 c: 口の開き方や舌の位置に気を配りながら、繰り返し英語を聞こうとしている。	ディクテーション テスト
		読むこと	a: 「古い情報」から「新しい情報」へと話が流れていく英文の基本的な特徴を理解できている。 b: 長い語句や表現には新しい情報を含むことが多く、その際 it を用いて主語とすることや受動態を用いた文となることを理解できている。 c: 何度も繰り返し音読をしようとしている。	小テスト、ワーク、定期考査 (リーディング)
	Lesson 6 “An Irish Poet on Mission”	話すこと (やり取り)	a: 相手の話を聞いて疑問に思ったことを正確に伝える際に用いる表現を複数身につけている。 b: 相手の反応を見ながらより適切な英語表現に言い換えたり、相手	音読

※令和4年度以降入学生用

			からの質問に適切な英語で答えている。 c: スムーズなやり取り展開にならなくても、諦めずに何度でも挑戦している。	
		書くこと	a: 関係詞や準動詞の基本的な用法を理解できている。 b: 述べようとする内容に応じて適切な文法知識を使い分けて表現することができている。 c: レッスンで学んだ語彙や構文を活用してできるだけ述べたい内容に近い英文を作成しようとしている。	小テスト、ワーク、定期考査（ライティング） 自由英作
	中間考査			
	Lesson 7 “Be Free from Gender Bias” Lesson 8 “The Diminutive Giant Who Fought for Refugees”	聞くこと	a: 日本語の「イ」や「エ」に相当する英語の発音の違いを理解できている。 b: 単語単独で発音されたときだけでなく、文の中で発音されたものでも発音の違いが区別できている。 c: 口の開き方や舌の位置に気を配りながら、繰り返し英語を聞こうとしている。	ディクテーション テスト
		読むこと	a: 未知語が英文中に出てきたときの基本的な対処法を理解できている。 b: 前後の文脈からの類推や言い換え表現などを探しだすことで未知語に対処しようとしている。 c: 辞書に頼る前に利用できる知識を総動員して英文を読み切ろうとしている。	小テスト、ワーク、定期考査（リーディング）
		話すこと（発表）	a: これまでに学んだ語彙・文法や表現を活用できている。 b: 同様の内容であればできるだけ簡潔な英語で表現しようとしている。 c: 適切な間と音量・スピードで、暗唱したものを発表しようとしている。	音読
		書くこと	a: 「要約文」を英語で作成するときの基本的なポイントが理解できている。 b: スキミング等を活用しつつも原文をそのまま用いるのではなく必要に応じて自分の言葉・表現で簡潔にまとめることができている。 c: 何度も本文を熟読しながら和英辞書等も活用し、なんとか自分の英語表現にしようとしている。	小テスト、ワーク、定期考査（ライティング） 自由英作
	期末考査			
	3 学期	聞くこと	a: レッスンの内容に関する TF 問題に適切に答えることができている。 b: 少し早めに読まれる英文の空欄補充ができ、更に英問英答ができている。 c: 集中して英語を聞き取ろうとしている。	ディクテーション テスト
		読むこと	a: 「比較」「仮定法」について基本的な理解ができている。 b: 「比較」「仮定法」の特殊な表現や構文を理解できている。 c: 授業以前に、辞書等を活用して与えられた英文を理解しようとしている。	小テスト、ワーク、定期考査（リーディング）
		話すこと（発表）	a: このレッスンで学んだ内容や自分が感じたことを述べる際に用いる適切な語彙や構文を身につけている。 b: やり取りの中で生じた疑問点を適宜伝え、対話の展開を広げようとしている。 c: メモなどを見ることなく、適切な音量とスピードでできるだけ暗唱したものを発表しようとしている。	音読
		書くこと	a: 「比較」「仮定法」について基本的な理解ができている。 b: 述べようとする内容に応じて適切な比較表現・仮定法表現を選んでいる。 c: これまで学んだ語彙や構文を活用し、述べたい内容に近い英文を作成しようとしている。	小テスト、ワーク、定期考査（ライティング） 自由英作
	学年末考査			

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度